

事業所名

児童発達支援・放課後デイサービス
こえん黒崎

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和7年

3月

3日

法人(事業所)理念	私たちは、その人の持つ価値観、ペース、生き方など、大切なものを守りながら生きられるよう支援します。					
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんやご家族の気持ちを受け止め、共有します。 ・私たちに“何ができるのか”を常に考え、提案します。 ・最高のサービスを提供できるよう、スタッフの知識技術を高めます。 ・チームの一員であることを自覚し、常に謙虚に、その責務を全うします。 <p>【特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門スタッフ(作業療法士・保育士等)が個別(1時間)の療育を実施。 ・療育場面にご家族が同席。 ・ご家族・事業所が共通認識のもとに療育しやすい。 ・交換される情報の量や質が高い。 					
営業時間	9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	なし
支援時間	〇9:20～ 〇10:30～ 〇13:00～ 〇14:10～ 〇15:20～ 〇16:30～ の概ね1時間の療育			支援方法	一人一人に合った個別支援	
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ◎健康な心と身体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援します。 ◎視覚支援、構造化、リハビリテーション、SST、遊び、ゲーム、話し合い等こども一人一人に応じた支援を提供します。 ◎専門職によるリハビリテーションを行います。(箸やスプーン操作や衣服の着脱等の生活動作の練習) 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ◎専門職によるリハビリテーションを行います。(身体障がい児等に対する歩行訓練やストレッチ、マッサージ、身体の使い方が不器用な子どもに対する運動療育) ◎その子どもの発達段階に沿って、今必要な療育を遊びの中で提供し、発達を促します。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ◎スケジュールを組み、視覚化などで認知形成を図ります。 ◎活動や遊びのなかで、適切な行動を習得出来るように支援します。 ◎1対1や小集団での適切な行動形成を図ります。 				
	言語コミュニケーション	◎1対1や小集団で適切なコミュニケーションを取れるように促します。				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ◎小集団・集団での遊びやゲームを通して人との関わり方や接し方を学べるようにします。 ◎自己理解、他者理解への支援をします。(SST・社会体験・個別療育) 				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ◎療育場面を見ていただいています。 ◎療育後にフィードバックを行い本人の発達状況や成長を確認しあいます。 ◎保護者面談等でお子さまの発達状況や支援ニーズの確認を行っています。 ◎お子さまとの関わり、兄弟に関すること等の様々な不安や困りに寄り添い、相談や助言を行っています。 ◎定期的にお子さまの発達段階や特性の理解、進路先や繋がり先の情報、保護者同士の交流などの機会としてご活用いただけます。希望にあわせて個別の面談も可能です。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ◎具体的な移行先との調整、相談援助、連携を行います。 ◎併用利用先(保育園・幼稚園・こども園・学校等)とのこどもの状態や支援内容の共有を行います。 ◎お子様やご家族への進路情報提供の他、必要に応じて、退所前に進路先へ伺い、支援情報の共有等を行うことも可能です。 			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ◎事前の承諾を得た後、学校や医療機関と連携し、情報共有の他、個別支援計画の作成・合理的配慮の活用等の環境調整を行います。 ◎相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携を行います。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ◎定期的な療育会議、職員会議、活動会議の実施をしています。 ◎症例検討、支援会議等個別に話し合いを行い、よりよい療育を考え合っています。 ◎定期的な社内研修の他、制度や療育方法など障がい福祉サービス従事者に必要と思われる外部研修へ参加しています。 ◎行政や地域の学校・病院・関係機関等に日々足を運び、情報の収集及びアップデートを行っています。 			
主な行事等						